

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽乳業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市南方一丁目2番1号

(3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、2017年度(平成29年)を基準年度とし、2019年度(令和元年)から2023年度(令和5年)までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **製造量牛乳換算値(t)**

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度 (2017)	令和5年度 (2023)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
エネルギー 起源CO ₂	0.060	0.060	0.058	0.050	0.046	0.045	0.046
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.060	0.060	0.058	0.050	0.046	0.045	0.046
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.02750	0.0278	0.02260	0.02093	0.01988	0.01955	0.01959
実績に対する 自己評価	小型ヨーグルト充填機の更新により、安定稼働までに時間がかかった為、製造時間が延長され 昼間に使用量が若干増加した。(8月稼働より)生産量前年比 97.6%、庫内冷蔵庫内天井落下 により、設備を修繕するまでの期間、冷凍機稼働が増加した。(8月～2月まで)						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	冷凍機に遮光ネット設置	2023年5月からの取り組み	遮光ネット設置により3～5℃温度抑制
2	アイスビルダー350型に遮光ネット設置	2023年5月からの取り組み	遮光ネット設置により3～5℃温度抑制
3	冷凍機に遮光ネット設置	2023年5月からの取り組み	遮光ネット設置により3～5℃温度抑制
4	電機使用量の削減	2023年1月からの取り組み	ターボチラー停止

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。